

# 2017年10月3日(火) 懐かしの映画鑑賞会

上映映画は、「錨を上げて」です。

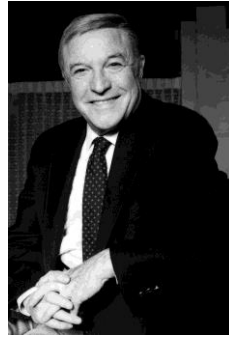
監督 ジョージ・シドニー

製作 ジョー・パスターナク

原作 ナタリー・マーシン

# キャスト

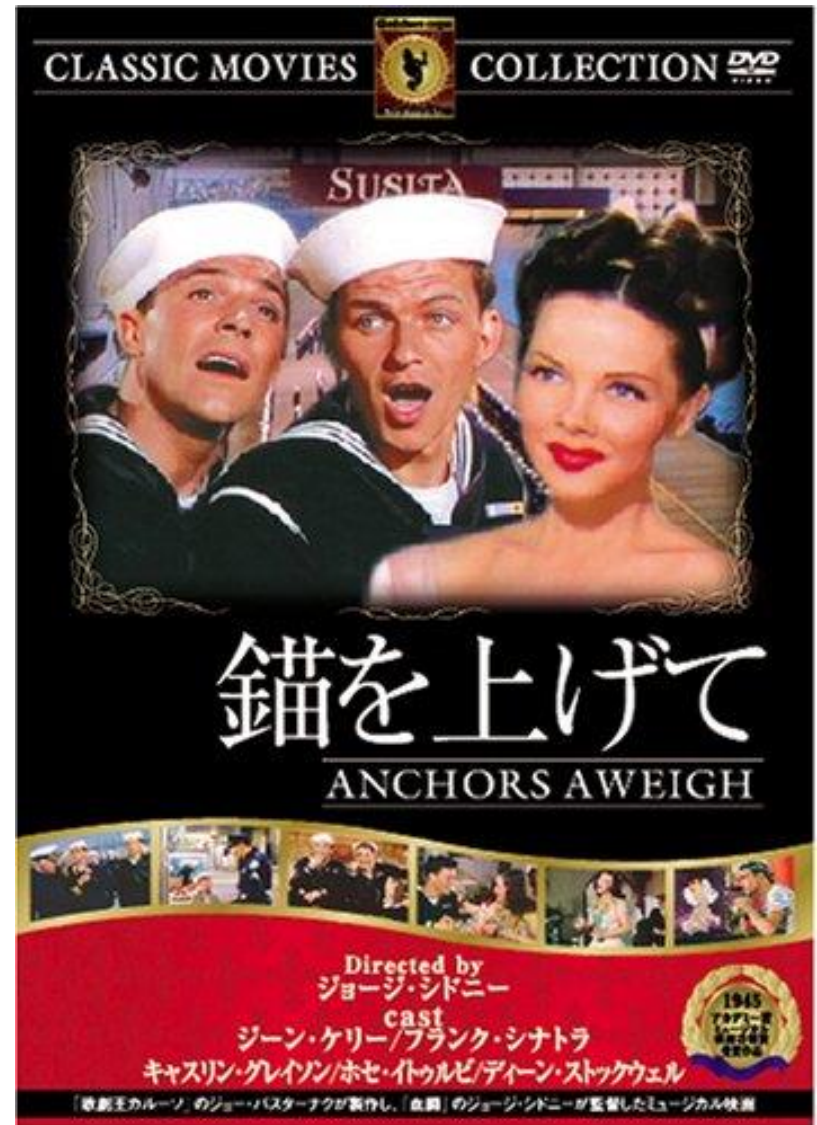
- ジーン・ケリー  
ジョゼフ



- フランク・シナトラ  
クラレンス



- キャスリン・グレイソン  
スーザン



# あらすじ

- 功績により4日間の特別休暇を与えられた水兵クラレンス・ドゥーリッツルとジョゼフ・ブラディは花の都ハリウッドへ赴く。陽気で行動的なジョゼフは美人の女友達と楽しく過ごそうと大はしゃぎ。内気で不器用なクラレンスもいい女友達をつくろうと思った。
- ハリウッドに到着した二人、ひよんなことから海軍狂の男の子ドナルドに出会い、彼の唯一の身寄りである叔母のスーザンと知り合う。彼女は歌手の卵で、有名指揮者でピアニストであるホセ・イタルビに憧れを抱いていた。
- スーザンに一目惚れしたクラレンスだったが打ち明けられず、ジョゼフは彼女に振られてしまうが、彼もまたスーザンに惚れてしまう。スーザンに惚れてしまった二人は彼女の元に訪ねてきた男性を追い返すが、その男性は彼女をイタルビに紹介しようとしていた人だった。
- そんな中クラレンスがイタルビと知り合いだと嘘をいたジョゼフとスーザンは互いに愛し合うようになり、クラレンスは他の女性と親しくなる。ジョゼフとクラレンスはイタルビを追い掛け回すうちに4日間の休暇は終わりを告げる。

- その後、スーザンはイタルビの元へ訪れジョゼフの言ったことは嘘だったということを知り沈み込む。そこで彼女に同情したイタルビは何と彼女にテストをしてやろうというのだ。
- 一方、帰艦したジョゼフとクラレンスは艦内で騙してしまった彼女のことを申し訳なく思い沈んでいた。そこへ何故かホセ・イタルビが現れ、わけのわからない二人を艦のホールへ連れて行く。
- ホールに来た二人。クラレンスはハリウッドで知り合った女性の姿を見つける。その一方、ホールのステージ上には楽団とイタルビが待機。なぜか客席には海軍の格好をしたドナルドがいた。
- ジョゼフがステージ上に目を見張っているとなんとスーザンの姿が。彼女は米海軍に発掘された新人歌手としてステージで歌を披露するらしい。ジョゼフは真っ先にスーザンの元へ駆け寄る。
- イタルビの指揮で「錨を上げて」が盛大に歌われる中、クラレンスそしてジョゼフは、愛する人をそれぞれ抱きしめ続けるのであった。